

3. 人々の暮らしと田や畑のしごと

(1) くだものづくり



桑折町は、あぶくま川や産が沢川^{うぶ}があっても、川よりまわりの土地が高いため、川の水をひくことがむずかしい土地でした。

農家の人は、水をひかなくてよい作物、たくさんとれる作物、高く売ることのできる作物をさがしてきました。

りんご、もも、プラム、さくらんぼなどのくだものは、米作りのように水を多くひかなくてもつくりことができるので、水のひきにくい土地につくりことができます。

もものしゅうかくは7月から8月におこないます。

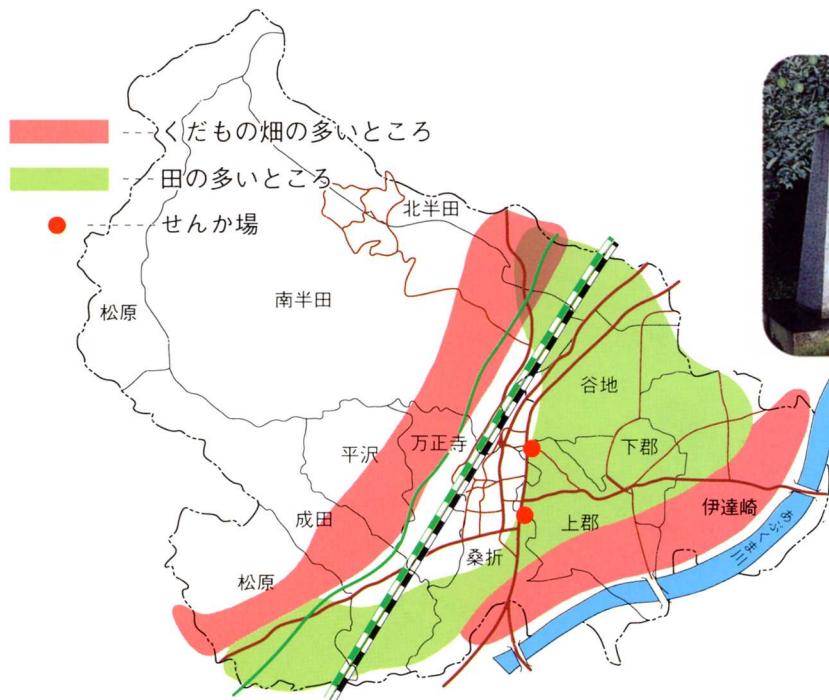
りんごのしゅうかくは9月から12月で、種類によってちがいます。

◀もものしゅうかく

くだもの畑はどこにあるか調べよう

① くだものづくりのようす

桑折町でくだものをつくっているところ



桑折町でつくりだされたりんご「王林」の記念碑